

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[東京都立田柄高等学校] 担当教諭名[長島 春美] (1年1-5組 64名)

相手国・地域[インドネシア]

海外学校名[SMA Negeri Taruna Nala Jawa Timur] 担当教諭名[Yuli Pradana]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時間数
	美術 I	アートマイル	40

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	祭り、踊りの力
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	今も世界には紛争が絶えず、核戦争の脅威すら否定できません。そこには他の文化への理解不足や無知があると思います。私たちがそれぞれの文化の中で育み引き継いで来た祭りや踊りには自然への畏敬、感謝、祈りがあります。人々を交流させ楽しませる力、生き返らせてくれる力があります。それは言葉を超えて伝え合うことができます。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
日本の伝統的な祭りや踊りについて調べ、由来や意味を知ることができた。相手校から情報を得てインドネシアの風土や伝統についてある程度の知識を得ることができた。相手国の人々に親しみを感じたり、関心を持った生徒たちがいた。英語を使った自己紹介で努力した生徒は少なくなかった。	インターネットを利用して情報収集した生徒が多く、新聞で行った時に比べ、集まった情報の広がりや乏しかった。早くからテーマを絞り込み伝えていたが、相手校とはすれ違いで、結局相互の意見交換は不十分だった。造形的探究は、自校内でもあまり深めることができず、また相手校とのやりとりも乏しかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
様々な国の生徒がいる学校なので、日常的に異文化に接しているとも言え、他国であるがゆえに特に関心を持つというわけではないようだ。「考え方」を深める相互交流があまりできず表面的な情報交換に終わってしまったため、それほど大きな変容は見られなかった。	アートマイルへの取り組み10年目で、再びインドネシアとの交流をさせて頂いた。相手校は、アートマイルのために生徒を取材旅行に行かせる程熱心に取り組む学校だが、意思疎通がうまくいかず、肝心の意見交換は不十分で終わってしまった。アートマイルで何が重要かという認識にずれがあるのかもしれない。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	日本語と英語で自己紹介を書く	多くの生徒が頑張って取り組んだ	美術 I
共有 テーマ学習	7月 ～ 9月	日本の伝統的な祭りや踊りについて起源や歴史、現代における意味などを調べ、新聞形式でレポートする。社会に対して祭りや踊りの持つ力について考える。	大多数の生徒が取り組み提出したが、一般的な情報が多くを占めており、自分なりの発想で祭りや踊りの意味を深く考えられた生徒は多くなかった。	美術 I
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	9月 ～ 11月	実行委員を指名し委員会形式で進める。インドネシアからの情報を生徒に紹介。壁画に描く祭りや踊りについての考えをまとめていく。祭りや踊りのイメージスケッチを行う。	インドネシアからの写真に関心を示す。 部活やアルバイトなどで実行委員会を欠席する生徒もいる。	美術 I
創造 壁画制作	11月 12月	授業時間と放課後の時間で制作を進める。	こだわりを持って熱心に描く生徒たちがいる。他の生徒が描いた部分との折り合いをつけるのが難しそうだった。	美術 I
評価 振り返り 自己評価	3月	全ての授業がすでに終了していたため、放課後活動で行った。ワークシートを使用して記入する方法をとった。	多くの生徒が熱心に見て記入していた。	美術 I

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

★どれも全員がとか大多数がということではありませんが、

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	調べ学習への取り組みによって一定程度前進が見られた。
異文化を理解する力	3	異文化に対して興味を感じた生徒はいるようだが、理解する力がついたとまでは言えないと思う。
情報活用能力 （収集・まとめ・発信）	4	調べ学習の成果を壁画に生かして造形化することができた。
コミュニケーション力 （双方向・共感・英語）	4	頑張って相手校へのメッセージを書いた。友達の描いた絵を尊重し、生かすよう努力する姿勢が見られた。
批判的に思考する力 （客観的・論理的視点）	4	調べ学習を基に自分なりの考えを展開している生徒もいた。絵画構成の上でよりよい構図や色などについて意見を述べた。
主体的に考え行動する力	4	何度も納得するまで絵を直しに来た生徒の姿。相手校の言葉に阿ることなく自分達の考えで表現しようとした態度。
他者と協働する力 （学級内・海外の相手）	4	予定を繰り合わせて放課後や休日にも時間を作り、何とか完成させようとした姿。相手校がどう描くかを想像しながら構図を考えたこと。
想いを言葉や形にする力 （メッセージ作成・壁画制作）	4	祭りと踊りの歴史を基に意味と形の関係を考えながら、自分達なりにストーリーを描き、大きな画面を構成した。
評価する力 （作品の鑑賞・学習の自己評価）	4	完成した壁画を見て、自分なりにワークシートに記入していた。時間をかけて熱心に見ている生徒たちがいた。